

機械器具 39 医療用鉗子  
管理医療機器 単回使用鉗子 (10861002)

再使用禁止

## クアッド・ホルダー ディスポーザブル

## 【禁忌・禁止】

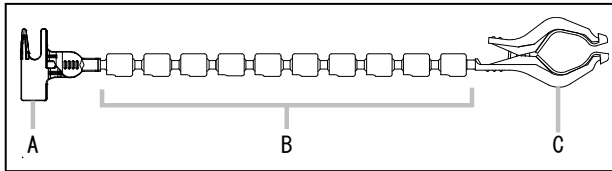
## ＜使用方法＞

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止
- ・加工・改造禁止。[正常に機能しないおそれ、及び、破損するおそれがある]

## 【形状・構造及び原理等】

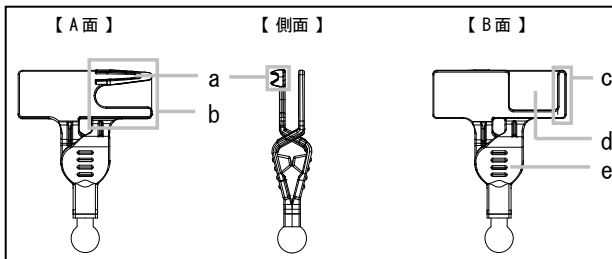
## 1. 形状

## (1) 全体の形状



A. 把持クリップ B. アーム C. 固定クリップ

## (2) 把持クリップの形状



a. 大伏在静脈グラフト把持部 b. Non-Skeletonized グラフト把持部  
c. Skeletonized グラフト把持部 d. Sequential 吻合用開口部  
e. グリップ部

## 【使用目的又は効果】

冠動脈・大動脈バイパス移植術の際に使用する血管組織を把持、又は支持するために用いる。

## 【使用方法等】

## 1. 使用前準備

- (1) 包装の外装から、内袋を清潔下に取り出します。
- (2) 内袋から本品を取り出し、把持クリップ、アーム、固定クリップの動きに異常が無いことを確認します。

## 2. 使用中の操作

- (1) 固定クリップで、開胸器又はスタビライザーのアーム部等に本品を固定します。
- (2) グラフト(血管)の種類や吻合手技に応じて、次のとおり把持クリップを操作することにより、各種グラフトを把持します(把持クリップは、グリップ部を指先で握ると開き、指先を離すと閉じます)。

- ① Skeletonized グラフトの場合  
Skeletonized グラフト把持部で挟むことにより、把持します。

## ② Non-Skeletonized グラフトの場合

血管の周辺組織を、Non-Skeletonized グラフト把持部で挟むことにより、把持します。

## ③ 大伏在静脈グラフトの場合

大伏在静脈グラフトの管腔内に、大伏在静脈グラフト把持部を挿入し、把持クリップで挟むことにより、把持します。

## ④ Sequential 吻合に供するグラフトの場合

Sequential 吻合用開口部に吻合箇所が露出するように、開口部両端で挟むことにより、把持します。

- (3) 必要に応じて、アームを曲げることにより、把持クリップの位置・角度を調節します。

## 3. 使用後の処置

本品は単回使用鉗子であり再使用はできません。使用後は廃棄します。

## 【使用上の注意】

## ＜重要な基本的注意＞

- ・包装又は製品に破損・汚損等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・開封後はすぐに使用すること。
- ・把持クリップを強く閉じるように無理に力を加える等、過度な力で組織・血管を把持するような操作をしないこと。[破損するおそれがある]
- ・把持クリップに過度の力を加えないこと。[破損するおそれがある]

## ＜不具合＞

その他の不具合

把持クリップ破損 [強く握ったことによる]

## 【保管方法及び有効期間等】

## 1. 保管方法

直射日光・紫外線の当たる場所及び高温多湿の場所を避け、清潔な場所に保管すること。

## 2. 有効期間

包装に記載(製造日から3年)(自己認証による)  
使用期限を過ぎたものは使用しないこと。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社カルディオ

TEL: 078-304-6101 FAX: 078-304-6103